



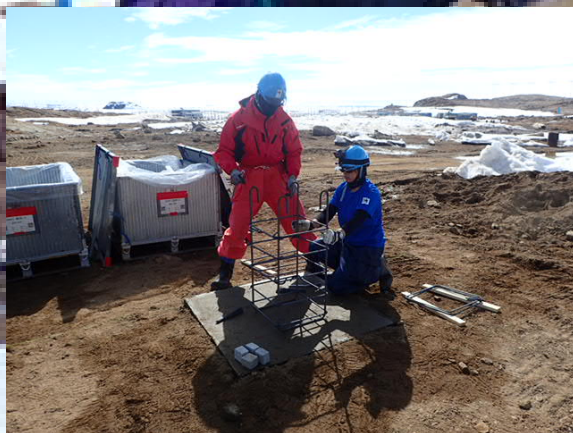
今週から数週間にわたって、南極での基本観測棟をメインとした建築工事の様子をご紹介します！先週末までの雄大な南極の自然の絶景から、建築現場の作業風景へとガラリと内容が変わります！



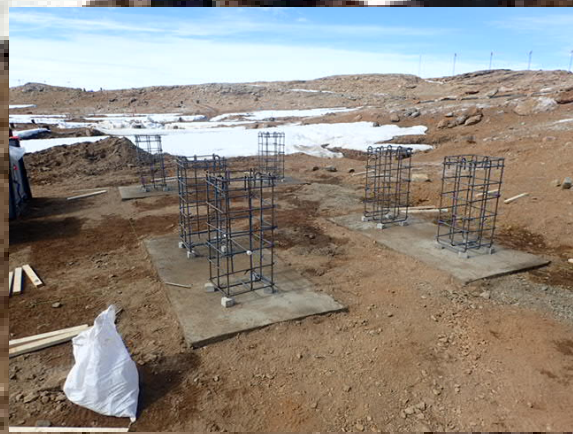
1枚目と2枚目は基礎工事のスタート、地面の根切り作業の写真です。残念ながら基本観測棟の工事ではないようです。日本国内と同様、基礎工事のスタートは地面の掘削作業から始まります。



地面の掘削、整地作業後、東基礎が乗る土台の枠を組みます。写真には4人の作業スタッフが写っていますが、研究者の方など建築に関しては素人の方がほとんどで、プロの職人はいません。



土台となるベースコンクリートの上部に、強度の要となる配筋を組みます。基礎ですから精度が肝心！しっかりと水平を出すために慎重に組み上げてゆきます。



こちらが組みあがった基礎配筋！無造作に設置されているようですが、コンクリートの厚みなどを計算して組まれています。ちなみに、写真の基礎は四角形ですが、基本観測棟の東基礎は円形です。



コンクリートを流し込む型枠が完成しました！あとはコンクリートの打設を待つばかりです。ミサワホームのスタッフが作業を監督しますが、他の方々は慣れない作業で(しかも南極という慣れない環境で)たいへんだと思います！

【次週予告】※後雨次長は帰国しましたが、まだまだたくさんのトピックスがあります！

「写真でプレイバック！基本観測棟建築工事2」をお送りします！

南極昭和基地のLIVEカメラ！→

